

# ちいき新聞

2017年3月17日号

柏南版

発行部数35,210部

VOL.604 全57版

総発行部数2,129,638部

## 今週の目どころ

- ☆情報満載「イベント情報」
- ☆読者投稿 ちいカフェ
- ☆お楽しみ読者プレゼント
- ☆NEWグルメスポット

法律相談 10,000件の実績

LINEから弁護士相談予約が取れます!

子どもにテレビ

★出演中★

離婚 相続 交通事故 借金問題

弁護士法人 東京スカイ法律事務所

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-5-8 8階 八重洲ビル8F  
 【西船橋支店】〒273-0025 千葉県船橋市印旛6-3-1 印中ビル7F  
 代表弁護士 田中 健太郎 (第一東京弁護士会所属)

0120-0505-90 mail:contact@tsky.jp

ちいき新聞に関するご意見・ご要望・お問い合わせは 読者サポート ☎0120-152-337 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み kashiwa-minami@chiikinews.co.jp



厨房で支えるスタッフ

### 障がいのある子どもに寄り添う心

ぶるーむの前身が誕生したのは2001年。主に現在の松戸特別支援学校に通う、身体に障がいのある子どもたちが放課後に遊ぶ会としてスタート。翌年から東武線増尾駅近くの民家を拠点に、放課後活動ひだまりとして本格的に活動を開始した。その後、支援費制度や障がい者自立支援法などの福祉関係の法律改正に対応しながら障がいのある子どもと家族に寄り添うように、保育所訪問、児童デイサービス、卒業後の居場所づく

ぶるーむの森は、東武アーバンパークライン新柏駅東口で社会福祉法人ぶるーむが運営する福祉施設。2016年10月から月に2回、月曜日の夕方に子ども食堂・学習支援の場として「ぶるーむクラブ」を開設している。

## ぶるーむの森において 社会福祉法人ぶるーむの 子ども食堂

り、生活介護支援など、「ボランティアさんに自分自身の子育てを助けてもらったので、同じように助けを必要としている人に届けたい」という野田幸子理事長の思いを形に活動を広げてきた。

現在の場所に移ったのは東日本大震災がきっかけ。「何かあったときに、預かっている子どもたちを守るためにもしっかりとした施設が必要」と建物を建設し、社会福祉法人ぶるーむへと移行した。

「市から委託を受け行っている相談事業や地域の民生委員さんとのつながりなどを通して、何に困っているのか明確にできない家庭や、コミュニケーションが苦手な子どもたちを感じている思春期の子どもたちも必要ないかな」と野田さん。障がいがあってもなくても、大空に向かつて大きく育ってほしい、そんなぶるーむの願いの一つが、ぶるーむクラブの子ども食堂なのだ。



子どもたちに囲まれるボランティアの皆さん



大人の食事は100円

※問い合わせ先  
 ☎0471302334  
 社会福祉法人ぶるーむ

(森川)